

報 告 書

開催日時	平成 29 年 10 月 13 日 (金) 19 時 30 分 ~ 21 時 00 分				
自治協議会名	高尾地区住民自治協議会	開催場所	高尾地区市民センター		
出席議員	百上 真奈、福田 香織、川上 善幸、桃井 弘子				
	司会者	福田 香織	記録者	桃井 弘子	報告者
参加人数	23名				

【主な意見・提言、対応等】

- マスタープランを含めた政策の多くは、上野を中心としている。
旧青山町など郡部の事も考えているという政策や態度を見せて欲しい。
- 支所の整備について、青山支所がベストだと思って出す要望は青山住民の意思であるので、青山の事を思うなら聞き入れて欲しい。
- 人口減少・高齢化が南部地域は特に進んでいる。住民組織の維持が困難で自治協の仕事が多すぎる。
A・何が負担になってくるのか調べます。
- 公共交通の利用者が減少しているが対策は？現状を維持していけるのか？
A・行政バス見直しのアンケートを実施している。地域からもはっきり意見を出して下さい。
- 全国的に高齢者施設が足りないと言われているが、今後入所出来る施設はあるのか？
A・制度・金額・ヘルパー不足の問題があります。在宅介護を国が進めています。
伊賀市として医療・福祉・介護の連携に取り組んでいます。
・特養が1箇所開設される度に介護保険料が1ヶ月約180円/1人程上がります。
- 高尾体育館の雨漏り、トイレの改修について市の方針は？
 - ・青山に体育館は欲しい。
 - ・市が管理をして欲しい。
 - ・トイレは洋式に（高齢者が利用する為）
 - ・高尾唯一の拠点避難所である。
- 県道青山美杉線の先先線で茂っている木を伐採をして欲しい。また松坂青山線、メナードから霧生間の道の新設がなかなか進まない。県へ要望して欲しい。
A・持ち帰り進捗状況の回答をお持ちします。
- 行政にも、社協がしている「ちょいサポ」のような事業をして欲しい。
- 高齢・認知症世帯で保険証戻りがあれば行政として気を付けて欲しい。
郵便局や民生委員の協力・連携も必要ではないか。
- 一年に一回は、行政も自治協単位でまわっていただきたい。
A・市の出前講座等を利用して下さい。
- 都会から若者が移住してもらえそうなアイデアをもっと出して欲しい。
A・移住コンシェルジュがいます。伊賀市は移住者が増えています。
今後も案を出して取り組んでいきます。

伊賀市議会議長 様

平成29年10月20日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成 29 年度議会報告会 1 班

班長 百上 真奈